

町の考え方を問う

一般質問

9月定例会では財政問題・観光問題など、町政全般へ9人19項目にわたり質問しました。



森のふれあい館

一般質問ではこのほか次の事項も質問しました。(順不同)

- 消防団の改革について
- 循環型の地球にやさしいまちについて
- 箱根町環境センター焼却処理施設の利用法について
- 箱根町第2一般廃棄物最終処分場の施設利用とごみ問題での広域行政の可能な協力と箱根町の役割について
- 教職員の校内駐車問題について
- 人工透析施設の誘致について
- 森のふれあい館の経営について
- 住民基本台帳ネットワークシステム2次稼働について
- 箱根火山防災マップ作成中間報告について
- 都市計画の改正について

企画

箱根町の人口問題について

次の2点について伺う。

Q 1 定住化対策をどのように推進してきたのか、また、今後どのような対策を講じるのか

2 高齢者世帯付住宅等を整備し、単身で町営住宅に住んでいる方に、住み替えていただき、その後、今まで以上に若い世代、いわゆる子育て支援のための住宅として位置づけることも必要と考えるか

A 1 点目について、まず、町の魅力をつくり出し、快適な環境の形成や定

住環境を高めるといふ計画的な市街地の整備、二つ目は未利用町有地や町道等の整備による周辺未利用地の宅地供給と持ち家の促進、三つ目は情報格差の是正やテレビの地上デジタル波放送開始を視野に入れた情報通信基盤の整備、四つ目は生活道路である町道の整備、町外への通勤者の利便性向上を目指した道路整備や道路渋滞緩和対策、五つ目は子育て支援センターの開設や

延長保育、預かり保育など、女性の働き口が多い観光地の特性に配慮した子育て施策、六つ目は生活支援が必要な高齢者に対する在宅福祉サービス、温泉を活用した健康づくりの促進や多様な暮らしができる環境の整備、七つ目は観光産業の振興による雇用の促進など、その対応にあたっている。

人口増、定住化問題は町の根幹にかかわる重要な課題であるので、人口動態をしっかりと把握し、七つの項目をさらに推進するとともに、地域や世代など、住まう方々の視点に立った施策立案を心がけ、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えている。

つ目は生活支援が必要な高齢者に対する在宅福祉サービス、温泉を活用した健康づくりの促進や多様な暮らしができる環境の整備、七つ目は観光産業の振興による雇用の促進など、その対応にあたっている。

町営住宅は、公営住宅法に基づき住宅として、住宅に困難な低額所得者の方々にとって廉価な賃貸の住宅を提供するという目的達成のために、一定の入居者資格要件が定められていますので、既存の町営住宅を即子育て支援のための住宅とすることは難しいものがある。

町営住宅のあり方、あるいは高齢者に対する世帯付住宅をはじめとする老人等保護施設などを含めた総合的な住宅施策を再構築する必要があるため、住宅施策検討プロジェクトチームを中心にさらに検討していきたいと考えている。

